

# 代表質問通告内容

(令和8年定例会3月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代1	しん (飛島 宣親)	<p>1. 町政執行方針について</p> <p>(1) 町長は、町政執行方針の結びとして『町の未来を切り拓くのは「人」であり、「地域の力」である』と述べています。 「人」や「地域の力」を引き出すためには、町民が主体としてまちづくりに関わる「シビックプライド」が欠かせないと考えますが見解を伺います。</p> <p>(2) 生活環境分野について</p> <p>① 地域公共交通計画に基づく「新たな移動手段の検証」の具体的な進め方や課題の把握状況、国が示す「輸送資源の総動員」に対する具現化の考えを伺います。</p> <p>② 近年の津波、大雨などの災害に対する避難や備えなどの対応強化の具体策、自主防災組織など共助の推進に対する考えを伺います。</p> <p>③ ごみの不法投棄やポイ捨てが目に見える状況であり、特に子供たちが作成した啓発看板の周辺でも発生している現状に対する認識を伺います。</p> <p>④ 町民の安全を守るための生活道路網の整備について、現状の認識と今後の進め方を伺います。</p> <p>(3) 経済産業分野について</p> <p>① 北海道大学を中心とした産官学が連携し、白老町の実態を踏まえた新たな産業振興が展開されているが、評価と今後のまちづくりに活用する考えを伺います。</p> <p>② 関係人口拡大のためには、移住定住の相談体制の充実に加え、ふるさと納税や旅先納税、企業版ふるさと納税などの既存事業の拡充が必要と考えますが、具体的な事業展開の考えを伺います。</p> <p>③ 地域活性化には民族共生象徴空間ウポポイとの連携が欠かせないと考えますが、町としての来場者の増加策や町内観光施設との連携推進の考えを伺います。</p> <p>④ 移住定住について、移住してきた若年層の自然や食に対する高い満足度と、長く住み続ける住民の生活基盤に対する不満という意識のギャップをどう捉えているか伺います。</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代1	しん (飛島 宣親)	<p>(4) 地域自治分野について 町内会活動のソフトハード両面からの支援の在り方と具体策について伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代1	しん (飛島 宣親)	<p>2. 教育行政執行方針について</p> <p>(1) 学校教育について</p> <p>① いじめの認知件数や不登校の児童生徒の近年の推移、課題認識と対策について伺います。</p> <p>② しらおい未来学など、ふるさと教育の一層の充実が求められると考えますが、成果と今後の方針を伺います。</p> <p>③ 学校の統廃合への対応や配慮の重点とその具体化への考えを伺います。</p> <p>(2) 社会教育について</p> <p>① スポーツ都市宣言 50 周年を盛り上げる F C 東京の夏季キャンプ等の誘致とその価値、まちづくりへの効果をどのように捉えているか伺います。</p> <p>② 町民の運動習慣の定着や、スポーツツーリズム推進に対する認識を伺います。</p> <p>答弁を求める者 教育長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代2	ひかり (前田 弘幹)	<p>1. 町政執行方針について</p> <p>(1) 町政に臨む基本姿勢について</p> <p>① 「暮らしを支える分野において、切れ目のない支援と環境整備を進める」とあるが、特にSNS等による防災情報や地域公共交通の利用方法など、高齢者にはまだまだ理解が難しく、もっと丁寧に説明すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>② 「次の世代がこのまちで暮らし続けたいと思える環境を整えることが責務である」とあるが、今の世代がそう思えるまちづくりでなければいけないと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(2) 重要施策について</p> <p>① 安心して暮らし続けられる基盤づくりの推進は非常に重要なことと考えますが、様々な支援を行うための職員確保と課題について伺います。</p> <p>② 子供たちが自ら考え、選び、行動する力を育てるために、家庭・学校・地域が連携して、子供たちの挑戦を温かく支える環境づくりに取り組むとあるが具体策について伺います。</p> <p>③ 持続可能なまちづくりの推進の中で一次産業の高度化と持続的発展への取組に対する思いを伺います。</p> <p>④ 役場新庁舎について、令和7年度中に建設場所を選定するとしていたが、進捗状況を伺います。</p> <p>(3) 主要施策について</p> <p>① 防災・減災について、津波避難施設のあり方を検討するとあるが、全町各地域ともに待ったなしの状況です。災害用物資や発電機等の装備的には毎年少しずつ整備されていると思いますが、避難施設は一向に進んでいるように見えません。災害に強いまちづくりとは何か伺います。</p> <p>② 住環境について、計画的な公営住宅の建て替えは、老朽化する現状を鑑みると必須ですが、単に建て替えるだけでなく、将来のまちづくりを見据え、さらに様々な角度からの議論が必要と考えますが見解を伺います。</p> <p>③ 道路について、国道36号白老西拡幅の早期着手に向けた要望活動と並行して、町が行うこととなる上下水道等のインフラ整備に向けた準備が必要だと思いが見解を伺います。</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代2	ひかり (前田 弘幹)	<p>④ 地域情報化について、誰もがデジタルの恩恵を享受できる町民サービスとあるが、高齢者の多い白老ではアナログもまだまだ重要な役割をもっていると考えますが見解を伺います。</p> <p>⑤ 観光について、民間事業者や関係団体が主体となる誘客活動等への支援を通じて、町内の周遊性と滞在時間の向上を図るとあるが、ウポポイが開業してから既に5年が経過しており、新たな施策展開が必要ではないかと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑥ 行財政運営について、町職員の退職が続く現状について見解を伺います。</p> <p style="text-align: center;">答弁を求める者 町 長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代2	ひかり (前田 弘幹)	<p>2. 教育行政執行方針について</p> <p>(1) 学校教育の充実について</p> <p>① 自立した学習者の育成について、具体的な考えを伺います。</p> <p>② ふるさと教育の充実は、まさに魅力満載の「白老」を学ぶこと、感じることで、利用することで将来の糧になるものです。教材としての「白老」の見解を伺います。</p> <p>③ 現在、研修や研究等で各大学関係者・学生が白老を訪れています。町外から見た白老町を語ってもらうのも子供たちの豊かな成長にはすばらしい経験になると思いますが見解を伺います。</p> <p>(2) 社会教育の推進について</p> <p>① 成人教育の推進について、地域の担い手づくりには、親子、祖父母と孫など異なる世代が共に学ぶ機会も必要と考えますが見解を伺います。</p> <p>② 地域連携による教育活動の推進の中で、白老東高校が進める探求学習への支援を拡大するとしています。全国的な生徒数の減少が明らかな中、地元高校の存続は重要事項と考えますが見解を伺います。</p> <p>答弁を求める者 教育長</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代3	公明党 (氏家 裕治)	<p>1. 町政執行方針について</p> <p>(1) 令和5年3月に行われた町長選挙において多くの町民から信任を受け4年間のまちづくりのかじ取り役として約3年が経過し、様々な難題に向き合い多くの施策に取り組んでこられたと認識していますが、町長が掲げた45項目の公約の達成度について伺います。</p> <p>(2) 町の子育て関連施設及び小中学校等の熱中症対策については、令和5年度より随時進められてきたものと認識しています。 今後の対応については令和7年定例会12月会議において計画的にスピード感をもって進めたいとの答弁をいただいたところですが、令和8年度町政執行方針では読み取れません。前回答弁との整合性について伺います。</p> <p>(3) 町長は、町政に臨む基本姿勢として「目指すまちづくりは、町民一人ひとりがこのまちに誇りと希望を持ち、安心して暮らせる持続可能な地域社会を創ることであり、町民の皆さまとともに対話を重ね、知恵を出し合いながら、誰もが安心して暮らせ、次の世代が夢を描ける施策を展開する」としています。</p> <p>① 重要施策「健康・交流・誇りの醸成の推進」において、「自治体におけるスポーツは、体力向上や趣味の枠を超え、住民の健康寿命延伸による医療・介護費の抑制、コミュニティの再生と地域への愛着の醸成、交流人口・関係人口の増加による地域経済活性化など、まちづくりには必要不可欠なものであり、新年度においては、多くの町民参画・交流によるスポーツイベントを開催し、世代間交流の促進を図るほか、スポーツのまちとしての特性を活かしながら、本町の観光・特産品などの地域資源と融合させながらスポーツツーリズムの推進を図っていく」としていますが、具体的な考えを伺います。</p> <p>② 重要施策「持続可能なまちづくりの推進」において「より多くの町民参加による意見を町政に反映させるため、引き続き、タウンミーティングの開催や町内団体・企業へのヒアリングの実施に加え、新年度より2か年かけてワークショップの開催やオンライン会議による参加促進など町民参加型・官</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代3	<p>公明党 (氏家 裕治)</p>	<p>民連携型の策定プロセスを通じて、持続可能なまちづくりのビジョンを策定するべく第7次白老町総合計画の策定に着手する」とあります。町政に臨む基本姿勢にも決意を述べられているように、次の世代が夢を描ける施策の展開とは30年後40年後のまちの姿を描いてこそであり、そのための「第7次総合計画」であってほしいと考えますが見解を伺います。</p> <p>③ 主要施策「防災・減災」において「多様化・激甚化している災害に対応するため、実践的な防災訓練の実施や津波避難施設の在り方を検討する」とあるが、町民参加の機会をどのように確保し、どのようなスケジュール感を持って進めるのか具体的に伺います。</p> <p>答弁を求める者 町長</p>